

発達障害を知ろう！



問 保健センター ☎364-4786

発達障害とは、親の育て方や子どものやる気・努力不足などが原因ではなく、脳の何らかの機能障害と考えられています。

その結果、言葉のとらえ方・感じ方・考え方・覚え方などが他者と異なり、小さいころからさまざまな形で症状が現れます。

障害の種類は、自閉症・アスペルガー症候群・そのほかの広汎性発達障害（これらの総称を自閉症スペクトラムという）、注意欠陥多動性障害（AD/HD）、学習障害（LD）があります。

主な特徴

- * 人と関わるのが苦手
- * 相手の気持ちを読み取る・共感することが難しい
- * 言葉や感情の表現を身につけにくい
- * 特定の習慣や道順・位置などに強いこだわりがある
- * 感覚的に過敏さや鈍感さがある
- * 集団のルールや相手に合わせて行動しにくく、やりとりが苦手
- * 注意を向ける・衝動を抑えることが苦手
- * 学習能力のアンバランスなど



＜本人は困っています！＞

見た目だけでは障害とわからないため、本人が困っていても気づかれないことが多くあります。

適切な対応がなされないと、成長とともに二次的障害（※1）を引き起こす可能性があります。

※1 二次的障害とは、登校しぶりや不登校、いじめ、自傷、パニック、過去の嫌な体験を思い出すようなフラッシュバック、度を越す暴言・暴力などをいいます。

保護者の方をはじめ、お子さんに関わる大人が発達障害の特性を学び、特性に合ったさまざまなアプローチを行うことで、持っている力を発揮し、将来必要な力を身につけることが可能になります。

保健センターの取り組み

1. 発達障害早期支援事業

早期発見と適切な対応・支援のシステムづくり
すこやかファイル（※2）の積極的な活用

2. 個別支援事業

保育所・幼稚園、小・中学校への保健師による訪問および連携

3. 保護者・支援者向けの研修会開催

発達障害の特性を持つ子の疑似体験など

4. 親の会の紹介

親の会（団体名）	活動内容	代表／連絡先
こぐまの会	情報交換・勉強会、親子の行事	小山田 022-366-4597
手をつなごう会	茶話会	本郷 080-3190-9802
ハッピークローバーの会	学習会など	富樫 090-2952-2522

※2 すこやかファイル…子どもの保健・教育・医療・福祉などに関する情報を記録したもの。本人・保護者・支援者が情報を共有し、途切れない一貫した支援や教育を行うことができる。



一人で悩まずに、まずは、保健センターへご相談ください！

